

団体や大学の垣根越え連携

団体や大学の垣根を越えて学生が親交を深めるイベントが8月末、岡山市内で初めて開かれた。地域の課題解決を目指す学生の動きをより大きくしようと現役大学生が企画。開放感ある空間で一緒にバーベキューを楽しんだ学生らには協力の機運が芽生え、早くも新たな連携が生まれている。(内田貴大)

地域課題解決へ 学生ら親交深めるイベント

「おかやま学生交流BBS」と銘打ち、岡山理科大学3年小坂真之さん(21)が開いた。8月30日、会場の相生橋(同市中区古京町)下には、小坂さんが所属する同大の学生イベント企画団体「とり、OUS」や災害救援などを行うNPO法人「国際ボランティア学生協会(IVUSA)」といった6団体から18人が集まった。初対面で緊張気味だった



バーベキューを囲んで親交を深める学生ら
いる人たちがばかりなので自身の濃い会話ができた。団体間で声かけしやすくなった」と話した。
その8日後の9月7日、赤磐市の中学校でだっぴが主催した授業に、とり、OUSのメンバーの姿があった。バーベキューをきっかけに早速実現した団体同士のコラボレーション。地域の大人と中学生が話し合うキャリア教育で、とり、OUSのメンバーが進行役を担当した。
だっぴ職員の大森哉絵さん(32)は「学生たちは多様な活動を知り刺激になったはず。つながりを生かし、互いに協力し合えればよい」と期待する。

バーベキュー 囲み歓談 「濃い会話できた」

が、まずはジュースで乾杯し「たくさん話したい」「人見知りなので声をかけて」などと自己紹介からスタート。会話が進むよう「文系、理系の強みとは」「将来やってみたいこと」といったテーマを決めてグループ討議し、次第に打ち解けると、3時間ほど歓談した。多世代の対話の場づくりを展開するNPO法人だっぴ(岡山市)から参加した上旬を予定する。県立大1年夷根勇さん(21)は「熱意を持って活動して

さんデジに動画

企画した小坂さん(岡山理大3年)に聞く

「おかやま学生交流BBS」を企画した小坂さんに開催の動機や手応えを聞いた。

所属する「とり、OUS」で企画、会計を担当。県内の大学生が商店街で屋台出店やステージ発表を展開する「まちなか大

若い力より大きく



小坂真之さん

で、同世代の他の学生たちがどんな活動をしているのか知りたくなったのがきっかけだ。所属する団体や大学が違っても目的が同じな的にコミュニケーション

(内田貴大)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。